

【地域の顔～神戸市シルバーカレッジとは～

須磨区竜が台地区シルバーカレッジ 20期生 健康福祉コース 3年 川部忠夫

神戸市シルバーカレッジは、神戸市北区にあるしあわせの村の南端の高台に位置しています。開校は、平成5年9月で現在は20期生・21期生・22期生の3学年が在学し、日々学びクラブ活動・ボランティア活動に励んでいます。

開設コースは、健康福祉、生活環境、国際交流・協力、総合芸術の4コースがあり、総合芸術コースとしては美術・工芸、音楽文化、園芸、食文化の4専攻に分かれています。(定員は1学年合計420人、最高齢の方は87歳の方です)

入学資格は、神戸市在住の57歳以上なら男女を問わず入学出来ます。『再び学んで他のために』の建学精神をモットーに在校生は勿論卒業生も「地域活動、ボランティア活動に理解と熱意をもって」取り組んでいます。

カレッジには、クラブ活動が46団体とボランティア活動が29団体有ります。

私が学んでいる健康福祉コースは、健康及び福祉に関する専門の各大学の先生方及び福祉施設等で働いておられる専門職の方、またNPOを立ち上げ地域の活性化に取り組んでおられる方々の講義と施設見学等が有り、サラリーマン生活では経験しなかったことばかりで授業時間が短く感じたことが多く有りました。又、クラブ活動では従来から好きであったゴルフ及び囲碁クラブに入り、先輩方と同級生とプレー等で楽しく遊びました。

一方ボランティア活動では、“イベント清掃ぴかぴか隊”に入り神戸市内のイベントに参加しながら周辺のゴミ拾いを行い「街も心もぴかぴかに」の目標を達成することが出来、自身で満足したものでした。この3月には、卒業しますがカレッジで学んだことを生かし、今後も地域の活性化に貢献したいと思っています。

【地域づくり・健康づくり

～みなと銀行の医療・介護分野への取組み～

みなと銀行 地域戦略部 部長 森田成敏

みなと銀行地域戦略部の活動をご紹介します。当行では、平成26年度から開始した中期経営計画に基づき「地域発展への更なる貢献」を実現するため、地域戦略部を創設し、地域経済活性化策として農林漁業の成長産業化や商店街の活性化、オールドニュータウン問題への対応など様々な取組みを行っております。

今回は、神戸市看護大学様に関連する分野として医療・介護分野に対する2つの取組みをご紹介します。1つ目は、神戸市様が推進しておられる神戸医療産業都市への企業誘致のご支援です。平成25年に神戸市様と神戸医療産業都市の推進に関する連携協定締結し、地域企業が医療・介護分野への進出するためのセミナーを共同で開催しており、現在までに5回を数えます。最近では、1月27日に病院や介護事業者の方々を中心に関心の高い「介護リハビリロボットセミナー」を開催し、約70名の方にご参加頂き好評を得ました。医療や介護機器を開発し製品化するまでには、相当な時間がかかります。しかしながら、このようなセミナーによってお取引先等に情報提供することで、神戸医療産業都市へ進出される企業も増加し、当行の誘致協力で現在8社が進出しました。

もう1つは、一般の病院や診療所の方々に対する施策です。専門の医療コンサルティング会社と提携して病院の建替えや医療法人の事業承継、高齢者向け住宅の運営など医療介護のご関係者に関心の高い問題に対し、セミナーや個別相談会を実施し、地域の医療・介護事業が継続し発展していけるような取組みを行っております。

みなと銀行では、今後とも地域の皆さまへの金融・情報サービスの提供を通じて、地域経済の活性化に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



卒業研究報告会の様子



介護リハビリロボットセミナーの様子

神戸国際ビジネスセンター (KIBC)